

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 龍	公表日	2025年 10月 15日
		利用児童数	7名
		回収数	5名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>			少し狭く感じる	レイアウト変更して少しでも広く出来るようにする
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>				引き続きわかりやすいようにしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>			建物が古く感じる	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>				引き続き支援できるようにしていく
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>				引き続き行っていく
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>				引き続き行っていく
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>				これからもお出かけやイベントに参加出来るようにしていく
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	地域の行事等に参加して交流の機会を増やしていける様に努めています
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>				親切・丁寧に説明出来るように努めています
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	<input type="radio"/>				連絡帳のコメントや、ラインで活動の写真や動画を送り情報共有を引き続き行っていく
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>				相談の窓口になるスタッフの配置を行って知ってもらう
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	保護者同士の交流会などが無いので保護者同士のつながりが出来るイベント開催を検討していく
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	<input type="radio"/>				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					常にラインにて受け付けています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○				以前、モニタリングシートの紛失がありました。再発防止宜しくお願ひします	書類等の管理の仕方、受け取った時の保管場所の徹底して今後起きない様にしていく
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○		施設にマニュアルを常設しており契約時等で保護者の方への周知に努めています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○					安心して通所していただけるように努めていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○					引き続き楽しく通所していただけるよう努めていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	○					満足していただけるように努めていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス龍

公表日 2025年 10月 15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者さんの活動場所を分けて窮屈にならないようにしている	動きが多い利用者さんのスペースが少ないのが課題
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		出来るだけスタッフの人為配置を均等にしている	利用児さんが多い日もあるので改善が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者さんの活動場所を分ける様に物を置いている	活動場所に利用児さんが多くなると窮屈になる時があるのでそこが課題
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃に加えこまめに消毒を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		同じ敷地に使える部屋がいくつかあるので何かあると（体調不良等）移動して使える	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			新しいスタッフやアルバイトのスタッフにも今一度説明が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月スタッフ会議を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		系列の施設の方に評価をしてもらい改善につなげている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修案内があると申し込みしたり、系列の看護師さんやPT・OTさんにも研修等行ってもらっている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者様にアセスメントシートの提出してもらったり電話での聞き取りなどを行って作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月のスタッフ会議でスタッフの意見も聞きながら話し合いをし検討を行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月のスタッフ会議で計画の共有を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			新しいスタッフやアルバイトのスタッフの今一度説明が必要
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お出かけやいろいろな事をやってもらい活動の幅を広げられるようにしている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			アルバイトのスタッフが出勤時間が遅い時に確認出来ない時がある	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			アルバイトのスタッフやスタッフが早帰りの時等その日のうちに振り返りが出来ない時がある	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		毎月のスタッフ会議で見直しを行っている	アルバイトのスタッフに今一度説明が必要	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				交流の機会が少ないので増やしていきたい	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者とラインなどで連絡を取り写真や動画で変化や活動の様子を送り必要なら電話で課題など話している		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者と連絡を取り情報共有を行っている		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			モニタリング用紙を提出してもらい必要な時は電話や送迎時等でお話している		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○					
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			保護者様とラインでラインで連絡を取り必要な時は電話や面談を行っている		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者同士の交流がないので交流が広がる機会を作れるように検討していきたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様と連絡をすぐに取りれるようにしており何かあればすぐに対応出来るようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		不定期で活動の写真などを載せたお便りを作成し保護者様にお渡ししている。そのほかにも活動の写真等をラインでお渡ししている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域住民を招待する事が少ないため招待する事も検討していきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			新しいスタッフやアルバイトスタッフ保護者様に今一度説明が必要
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者様からの聞き取りを行いスタッフも確認出来るようにチェック表も記入してもらっている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーがある方の食札を大きくわかりやすくして対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			保護者様に今一度説明が必要
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		当事者や発見者に書類を提出してもらいスタッフでの共有して再発防止の検討を行っている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月のスタッフ会議や虐待委員会を開催した際の参加スタッフからの情報共有、研修を行っている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束の説明を行い同意書も確認サインを行ってもらっている		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス龍		
○保護者評価実施期間	令和7年9月3日		～ 令和7年10月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年9月3日		～ 令和7年10月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備や人員配置が整っていること	当日の利用児のケア内容、状態によって個々の利用児の特性に応じた環境整備を行っています。 最低人員に加えて加配を付け、他施設とも連携をとり柔軟な応援体制を組んで、利用児に合わせ適切な人員配置を行っています。 複数人で配置の確認を行っています。	環境については動線の見直しを行ったり、職員間で意見交換をし、さらなる向上を図っていきます。 職員のスキルアップの為、研修制度やOJTの充実を図って行きます。
2	一人一人の応じた支援の提供	連絡帳や、保護者とのメールのやり取りを通じて、利用児の状況を把握し、スタッフ間で共有しています。 活動プログラムが固定化しない様に季節ごとの行事を盛り込み活動プログラムの充実を図っています。 関係機関との連携をとり、一人一人の状態の把握に努めています。	一人一人の現状に合った活動プログラムが提供出来るように保護者との連絡を密に取り、スタッフ間での情報共有に努めていきます。 活動プログラムのさらなる充実を図る為職員同士でアイデアを出しあったり、共通理解を深めることで、一人一人にあった支援を提供していきます。
3	(子供及び保護者の)満足度	日々の記録を丁寧に書くことや送迎時に職員から保護者への丁寧な説明を心掛け、施設内での利用児の様子について、保護者に伝える事が出来るように努めていきます。	今後も職員一人一人が保護者説明を丁寧に行えるように心掛け、子供及び保護者のニーズ把握に努めて行きます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	体調が安定しない利用児がいる為出かけるなどの機会が難しい場合やイベントに参加する利用児が偏る事があります。	今後外部や関係機関との連携を通して、関係性を構築し、交流する機会を設けていきたいです。
2	家族支援	保護者同士の交流の機会が少ないです	保護者や利用児のニーズを把握したうえで、必要な家族支援を企画・運営していきたいです。
3	非常時対応についての保護者への周知	施設内で避難訓練などを行っていますが、説明出来ていませんでした。	今一度、ホームページやおたより、連絡帳に記載するなどして保護者への情報発信を検討していきます。